

お知らせ

2010年6月18日  
アイエヌジー投信株式会社

楽天証券株式会社が「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド  
(愛称:世界のこだわり)」の取扱いを開始

2010年6月18日から楽天証券株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 本社:東京都品川区)が「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド(愛称:世界のこだわり)」(以下「当ファンド」)の販売会社に加わりました。

当ファンドは、BMW、モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン、コーチなどに代表されるプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業の株式に特定の国や地域、通貨に集中せず分散投資を行う国内投資信託として2006年11月30日に設定されました。販売会社は6月18日以降、コスモ証券、SBI証券、スルガ銀行、フィデリティ証券、楽天証券の計5社となります。

当社は、プレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業を「世界的に伝統がある高級ブランド商品およびサービスを提供する企業と、通常より高い価格でも購入することをいとわないワンランク・アップの商品およびサービスを提供する企業」と定義し、こうした企業は一般的に収益力が高く、さらに今後は中国を始めとするエマージング諸国の富裕化の恩恵を受けると期待されることから、魅力的な投資対象であると判断しています。

今後も、投資家の皆様のご期待に応え、末永くご愛顧いただけるファンドを目指して、運用パフォーマンスの向上、情報の提供に努めてまいります。

アイエヌジー投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第300号

(社)投資信託協会会員 (社)日本証券投資顧問業協会会員 日本証券業協会会員

■ 手数料の概要

お客様には以下の手数料をご負担いただきます。

＜お客様に直接ご負担いただく費用＞

- 申込手数料: お申込日の翌日の基準価額に対して上限**3.150%**(税抜き**3.00%**)を乗じた額とします。  
(注)販売会社により異なりますので、販売会社また委託会社までお問合わせください。
- 信託財産留保額: 換金時の基準価額に対して**0.3%**の率を乗じた額とします。

＜保有期間中に間接的にご負担いただく費用＞

- 信託報酬: 保有している期間の純資産総額に対し年率**1.575%**(税抜き**1.50%**)。
  - 監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。  
(その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。)
- ※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。  
※ 詳しくは投資信託説明書(目論見書)の「手数料及び税金」でご確認ください。

当資料は、お知らせとしてアイエヌジー投信(株)が作成した資料であり、個別の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容はあくまで作成日時点のものであり、将来変更される可能性があります。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境により変動します。従って、元本は保証されていません。当ファンドの取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)を販売会社にて提供しますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断下さい。

## 主なリスクと留意点

当ファンドは、主として「ING・プレステージ&ラグジュアリー・マザーファンド」を通じて、株式など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスク及び留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書(目論見書)でご確認ください。

### ○株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済動向、発行企業の業績、市場の需給関係等によりその価格が変動します。特に、成長性の高い企業や成長性の高い業種については価格変動リスクが大きくなる傾向があります。株式の価格が変動すればファンドの基準価額の変動要因になります。

### ○為替変動リスク

ファンドは、主として外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。ファンドは為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高になればファンドの基準価額の下落要因になります。

### ○信用リスク

株式の発行企業が債務不履行になった場合、当該企業の株式の価格は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務状況・信用状況の悪化等の影響により有価証券の価格が下落するとファンドの基準価額の下落要因になります。

### ○流動性リスク

株式などの有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がり益が少なくなったり、または、実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、ファンドの基準価額の下落要因になります。

### ○カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難になることがあります。

### ○換金性が制限されるリスク

通常と異なる状況において、ご換金に制限を設けることがあります。取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受け付けを中止することがあります。

### ○解約資金の流出に伴うリスク

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。

### ○投資対象に係わる留意点

ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築しますので、株価変動、信用、流動性リスクが相対的に大きくなる傾向にあり、株式市場全体の動きと比べファンドの基準価額の動きが大きくなる場合があります。

当資料は、お知らせとしてアイエヌジー投信(株)が作成した資料であり、個別の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容はあくまで作成日時点のものであり、将来変更される可能性があります。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境により変動します。従って、元本は保証されていません。当ファンドの取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)を販売会社にて提供しますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断下さい。